

第5期 雄武町総合計画 後期実施計画書

様式1

No. 09000020

政策目標	1 はつらつ・雄武～地域産業の振興～	会計区分	1 一般会計	【全体計画内容】※後期実施計画期間外の計画期間を有する場合のみ記載 雄武町冷害・干ばつ災害緊急対策特別資金利子助成金交付要綱 《関係例規・法令名の追加》
基本施策	1 農業の振興	事業優先度	A	
単位施策	2 担い手(人・組織)の強化	政策事務分類	1 単独自治事務(例規)	
事業名	利子補給補助事業	見直し年度		
事業期間	平成25年度～平成29年度	担当課	9 産業振興課	
事業主体	雄武町	関係課	#N/A	
事業指標	補助対象者		#N/A	
事業目標	全件	ハード/ソフト 事業区分	2 ソフト事業	
住民参加	無	関係例規・法令名	有 雄武町農業経営基盤強化資金利子助成金交付要領	
住民協働		関係個別計画名	無 雄武町営農施設豪雪災害緊急対策特別資金利子助成金交付要領	

全体計画 事業内容		平成 25 年度 事業内容	平成 26 年度 事業内容	平成 27 年度 事業内容	平成 28 年度 事業内容	平成 29 年度 事業内容
計 画 内 容	農業経営改善計画達成のために借入れる資 金に係る利子補給補助を実施することによ り、酪農経営の安定化を図ることができ、地 域の担い手(認定農業者)の育成・強化が図 られる。	農業経営基盤強化資金 補給額 4,225千円 町費 2,113千円 道費 2,112千円 大家畜経営活性化資金 補給額 16千円 町費 17千円 道費 19千円 豪雪災害資金 補給額 39千円 町費 17千円 道費 22千円	農業経営基盤強化資金 補給額 3,808千円 町費 1,905千円 道費 1,903千円 大家畜経営活性化資金 補給額 11千円 町費 5千円 道費 6千円 豪雪災害資金 補給額 29千円 町費 12千円 道費 17千円 冷害・干ばつ資金 補給額 60千円(町費)	農業経営基盤強化資金 補給額 3,450千円 町費 1,726千円 道費 1,724千円 大家畜経営活性化資金 補給額 7千円 町費 3千円 道費 4千円 豪雪災害資金 補給額 19千円 町費 8千円 道費 11千円 冷害・干ばつ資金 補給額 47千円(町費)	農業経営基盤強化資金 補給額 2,791千円 町費 1,396千円 道費 1,395千円 大家畜経営活性化資金 補給額 5千円 町費 2千円 道費 3千円 豪雪災害資金 補給額 9千円 町費 4千円 道費 5千円 冷害・干ばつ資金 補給額 30千円(町費)	農業経営基盤強化資金 補給額 1,592千円 町費 797千円 道費 795千円 大家畜経営活性化資金 補給額 4千円 町費 3千円 道費 1千円 冷害・干ばつ資金 補給額 12千円(町費)
	事業費(千円)	16,154	4,280	3,908	3,523	2,835
計 画 事 業 費	国庫支出金	0	0	0	0	0
	道支出金	8,006	2,143	1,926	1,739	796
	地方債	0	0	0	0	0
	その他	0	0	0	0	0
	一般財源	8,148	2,137	1,982	1,784	1,433
実 績 事 業 費	事業費(千円)	11,703	4,276	3,906	3,521	0
	国庫支出金	0	0	0	0	0
	道支出金	5,812	2,143	1,927	1,742	0
	地方債	0	0	0	0	0
	その他	0	0	0	0	0
一般財源	5,891	2,133	1,979	1,779	0	0
関 連 事 項	特定財源の名称	(実施内容等)	(実施内容等)	(実施内容等)	(実施内容等)	(実施内容等)
	○農業経営基盤強化 資金利子補給補助金 ○大家畜経営活性化 資金利子補給補助金 ○豪雪災害緊急対策 特別資金	【評価・実績】 対象資金に係る利子補給	対象資金に係る利子補給	対象資金に係る利子補給	対象資金に係る利子補給	対象資金に係る利子補給
		※事務事業評価結果 A-継続/現状維持	※事務事業評価結果 A-継続/現状維持	※事務事業評価結果 A-継続/現状維持	※事務事業評価結果 A-継続/現状維持	※事務事業評価結果 A-継続/現状維持
	前期計画からの継続 (継続有り)	年度目標値 全件	年度目標値 全件	年度目標値 全件	年度目標値 全件	年度目標値 全件
	第6期計画への継続 (継続有り)	年度達成率 26%	年度達成率 100%	年度達成率 51%	年度達成率 72%	年度達成率 0%
	全体達成率 備考欄	全体達成率 26%	全体達成率 51%	全体達成率 72%	全体達成率 72%	

事業名	利子補給補助事業	評価者 管理職 職氏名	産業振興課長	横田 和幸
		評価者 作成者 職氏名	農務係長	小野 隆行

様式1
平成27年度実施
平成28年度評価

■事務事業の目的・内容(Plan・Do)

【誰、何が(対象)】	資金借入農家	望ましい指標(目的達成状況を最も端的に表す理論上の成果指標)	補助対象者
【抱える課題やニーズは】	借入資金利子の高負担による経営圧迫	指標(指標計算式/解説)	目標値及び実績値
【どのような状態になることを目指したのか(意図)】	償還負担の軽減	① 利子補給事業の実績	目標年度 平成27年度
【その結果、どのような成果を実現したいか】 ※成果=目的	経営の安定化による一定水準の農業所得の確保		目標値 100%
【内容(どのような手段で何をを行ったか)】	借入資金に対する利子補給	農業経営基盤強化資金、大家畜経営活性化資金、営農施設豪雪災害緊急対策特別資金、冷害・干ばつ災害緊急対策特別資金、畜産特別支援資金の借入農家に対する利子補給	実績値 100%
			達成度 100.0%
			②
			目標年度 平成27年度
			目標値
			実績値
			達成度 #DIV/0!%

■事務事業の評価(Check)

(1)事務事業の必要性(町民ニーズ、社会情勢に照らして妥当か、町が担う必要があるか。当該事業を実施しない場合の支障、既存事業との機能重複や見直しによる対応可能性)

必要	<input checked="" type="checkbox"/>	義務的なもの	国及び北海道の制度に基づく事業であり、酪農経営の安定化を図るため必要である。
必要/概ね必要	<input type="checkbox"/>	全部	
課題あり	<input checked="" type="checkbox"/>	一部	

(2)事務事業の有効性(期待する効果が得られたか)

有効	<input checked="" type="checkbox"/>	設定した目標値の達成状況	利子補給を行うことにより、酪農経営者の負担軽減が図られ、安定した酪農経営が図られた。
有効/概ね有効	<input type="checkbox"/>	達成	
課題あり	<input type="checkbox"/>	ほぼ達成	
	<input type="checkbox"/>	下回る	

(3)事務事業の効率性(コストに見合った効果が得られたか、計画上のコストを下げる工夫をしたか)

効率的	<input type="checkbox"/>	判断の理由	制度による負担割合が定められているため、コスト削減の余地はない。
	<input type="checkbox"/>	事業費抑制	
	<input type="checkbox"/>	人員削減	
効率的/概ね効率的/課題あり	<input type="checkbox"/>	時間短縮・作業軽減	
	<input checked="" type="checkbox"/>	その他	

(4)事務事業の公平性

公平	<input type="checkbox"/>	判断の理由	酪農経営安定化のための利子補給であり、公平であると判断する。
	<input type="checkbox"/>	受益者負担がある	
	<input type="checkbox"/>	受益者負担がない	
公平/概ね公平	<input type="checkbox"/>	受益が一部に偏る	
公平でない	<input checked="" type="checkbox"/>	その他	

■その他特記事項(アンケート調査など外部評価を受けた場合は、その旨記入)

■総合評価【A~D】

A:計画通り事業が進んでいる。目標が達成された。今後も計画通り事業を進めることが適当 等
B:ほぼ計画どおりに進んでいるが目標を達成していない。事業の進め方に改善が必要 等
C:当初の計画を達成できていない。事業規模、内容、実施主体等の見直しが必要 等
D:事業効果が表れていない。事業の統合、休・廃止の検討が必要 等

自己評価(一次評価)	評価会議評価(二次評価)	町長評価(三次評価)
A		
計画どおり全ての利子補給を行い、酪農経営者の負担軽減が図られた。		

今後の展開方向
(Action)

継続/現状維持		
酪農経営の安定化のため、継続的な支援が必要である。		

※展開方向の区分
○継続/現状維持又は拡充又は縮小又は統合又は内容の見直し・変更
○終了 ○休止 ○廃止